

## 施設等 友遊サロン子ども文庫

↓“今後の取り組み”の番号

↓(※プルダウンから選択、または  
自由に記述 両方でもOK)

番号	推進内容(要約)	施設名 (実施した場所)	実施日・期 間	事業名	内容(×人参加、×%が〇〇した、等 数値化できるものは入れてください)	課題・自己評価	
						↓プルダウン	↓自由記述
文 庫 ③	家庭や地域での読書活動の推進	緑ヶ丘住民セ ンター	11月8日	第1回友遊サロン 子ども文庫	用意した絵本を子どもたちが自分で読んだり、年長の子どもが読んでやったり、友遊サロンに参加したおばあさんが、読み聞かせをしてくれた。 (子ども4人・大人4人)		初めての文庫活動だった。ひと家族だけだったので心配した。
文 庫 ③	家庭や地域での読書活動の推進	緑ヶ丘住民セ ンター	12月13日	第2回友遊サロン 子ども文庫	参加した大人たちが、子どもたちに読み聞かせをしたり、親子で一緒に読んでいた。 手品もしてもらった。 (子ども16人、大人12人)		友遊サロンの「もちつき」と重なったので、参加者が多かった。
文 庫 ③	家庭や地域での読書活動の推進	緑ヶ丘住民セ ンター	1月10日	第3回友遊サロン 子ども文庫	自分で読んだり、親子で読んだりしていた。いろはカルタに夢中になっていた。手品もしてもらった。 (子ども10人、大人10人)		両親と参加して来る子どもがいた。用意した絵本はみんな読まれてしまった。
文 庫 ③	家庭や地域での読書活動の推進	緑ヶ丘住民セ ンター	2月14日	第4回友遊サロン 子ども文庫			
文 庫 ③	家庭や地域での読書活動の推進	緑ヶ丘住民セ ンター	3月13日	第5回友遊サロン 子ども文庫			

\* 友遊サロンは、第2、第4日曜日の午後2時から始まる。第2日曜の1時～1時45分までを子ども文庫の時間としています。

## 施設等 阪南市子ども文庫連絡会

後の取り組み”の番号

番号	推進内容(要約)	施設名 (実施した場所)	実施日・ 期間	事業名	内容(×人参加、×%が○○した、等 数値化できるものは入れてください)	課題・自己評価	
						↓プルダウン	↓自由記述
③	地域への働きかけ	尾崎公民館 (阪子連主催)	9月15日	正置友子氏講演会	23名参加。昨年度にひきつづき、絵本学研究家の正置先生をお招きして、「絵本を通して人権を考える一誕生・生まれるということー」をテーマに、人が生まれること、「いのち」をどう考えるか、幸せとはなにかを語って頂いた。		市立図書館と先生お手持ちの本、絵本を使った充実した人権学習会だった。
③	地域への働きかけ	いずみ文庫	毎週水曜日3:00~5:00		なんとか来庫者を増やそうと、子どもはもちろんのこと、大人にも来てもらおうと、料理本や話題の小説なども、少しはあるが置いている。		文庫の活動としてはさみしいものとなってきているが、細々とがんばっている。
③	地域への働きかけ	どんぐり文庫	毎週水曜日3:00~5:00		『はじめてのおつかい』などの大型絵本やことわざ絵本を使って輪読会をしている。認知症の絵本を読んで、キッズサポーターの勉強をしている。夏休みの読書感想文の宿題のための読書会を開く。新年は百人一首やかるた遊びをする。		昨年に比べて文庫に来る子どもが減っているので、本への興味を高める工夫をしている。
③	地域への働きかけ	めだか文庫	毎週水曜日3:00~5:00		60冊まで書ける貸出カードが2枚になった時、色画用紙で表紙をつけている。今までには、表紙がつくと文庫へ来なくなる子どもが多かったが、今年は継続して利用してくれている。一時、「あやとり」がはやり、あやとり本を市立図書館より団体貸出を受けた。学校図書館発信で「杉山亮」ブームが起こり、主に3・4・5年生に人気で、市立図書館で団体貸出を受ける。		幼稚園児から小学生まで、利用者の多様化を感じる。又、子どもたちが市立図書館、学校図書館、文庫をうまく使いこなしている。3年生以上のこどもたちが、絵本より読み物を多く借りていくようになった。
③	地域への働きかけ	あたご文庫	毎週水曜日2:00~4:00		恒例のクリスマス会の他、「えいごであそぼう」は昨年に引き続き、英語の先生に来てもらって、英語の手遊び、絵本を通じて英語を楽しんでいる。今年のテーマはエリック・カール。「まいっこのおたのしみかい」は小さな子どもを持つ母親が少しの時間で手作りのものを作る。「夏休み宿題工作」は夏休み最後の水曜日に、文庫の工作本を参考にスノードームを作った。		一人でも多くの子どもたちが文庫に来られるよう、又お母さんたちが気軽に文庫に来られるよう、新しい取り組みをしている。試行錯誤しながら、いろんな可能性を模索している。

## 阪南市子ども読書活動推進計画平成27年度推進状況

③	地域への働きかけ	つくし文庫	不定期	ボランティアによる実演	マジック、紙芝居、マンドリン演奏、学生ボランティアによる工作、読み聞かせ。		こどもたちが、兄姉世代のボランティアにリラックスして接していた。そして自ら紙芝居やビッグブックの読み聞かせをしようとする意欲がでた。
③	地域への働きかけ	つくし文庫	9月26日・1月23日	保育士と保健師によるお話とゲーム	下荘校区福祉委員会との協働により、子育て支援センターから講師派遣。お話内容に関連した本の紹介と読み聞かせ。		いつもより、乳幼児親子の参加が多かった。
③	地域への働きかけ	下荘小学校 1・2年保育所ちびっこホーム	年間24回	出前文庫	各クラス25名程度で、読み聞かせ・ストーリーテリング・紙芝居・詩の朗読やわらべうた。		出前をすることで、文庫へ来る子どもが増えた。
①	理解者や参加者を増やす取り組み	和泉学園共善寮(貝掛地区)	11月28日	出前すくすく塾	26名参加。詩の朗読・読み聞かせ(ふつうサイズとビッグブック)・紙芝居。		絵本を30冊くらいしか持つて行けなかったが、貸出があった。
①	理解者や参加者を増やす取り組み	子育て支援センター	10月27日	講座「絵本のたのしさ・大切さ」	18組の乳幼児と母親が参加。乳幼児向きの絵本を文庫と市立図書館で用意し、わらべうたの資料とともに紹介、読み聞かせをする。文学と美術の総合芸術である絵本は、心の栄養である、という話もした。		文庫への関心を示してくれて、後日2組が文庫へ来てくれた。
④	地域の他団体や図書館との連携	サラダホール練習室B(おはなしの会)	1月25日	おはなしサラダ	おはなしの会が毎年1月第4月曜日に開催する会員の発表会。会員全員がストーリーテリング。		会員外の人にも聞きに来もらっている。
④	地域の他団体や図書館との連携	市立図書館 視聴覚室	3月15日	アニメーション勉強会	講師の先生によるアニメーションの実践。		
④	地域の他団体や図書館との連携	市内公立幼稚園、保育園、小学校。	年間通じて	読み聞かせ	年間の活動として、おはなしの会会員が、市内の3公立幼稚園・2保育所・10小学校へ出向いて読み聞かせをする。		子どもたちが本に親しむきっかけになっている。

## 施設等 社会福祉協議会

↓“今後の取り組み”の番号

番号	推進内容(要約)	施設名 (実施した場所)	実施日・ 期間	事業名	内容(×人参加、×%が〇〇した、等 数値化できるものは入れてください)	課題・自己評価	
						↓プルダウン	↓自由記述
①	子育てサロン、まちなかサロン・カフェの全校区においての開設・運営	阪南市社会福祉協議会	通年	小地域ネットワーク事業	①つながる♡ひろがる 笑顔でまちづくり交流サロン 【テーマ】まちなかサロン、カフェについて H28年2月10日 開催 参加者22名 ②まちなかサロン・カフェネットワーク連絡会の開催 加盟団体 18団体（校区福祉委員会や自治会等） ③まちなかカフェ・サロン実施状況 ※27年度は集計中。 (平成26年度参考…10校区20カ所年間延べ331回延べ7789人参加)	参加人数多く、好評を博した	まちなかサロン・カフェの数は26年度より増加したが、12校区全てでの開催はできていない。子育てサロンの数は7校区で変わらず。
②	サロン・カフェにおいて図書・読書コーナーの設置・運営	箱の浦おしゃべりサロン 阪南市社会福祉協議会	通年	地域交流館事業 小地域ネットワーク事業	①箱の浦おしゃべりサロン 子どもから大人までが集える箱の浦のおしゃべりサロン（毎週火・木・土）において、自由に本を読んだり借りたりできる本棚を設置している。 ②地域交流館総合情報コーナー（カフェはなない） 地域交流館内で誰もが気軽に訪れることができ、福祉関係の図書コーナーの設置や一般市民、登録ボランティア等、様々な活動者が情報交換のできる場の運営をおこなっている。	実施できた	他のサロン・カフェでも図書・読書コーナーの設置・運営の必要あり。 まちなかライブリ実施の検討。
③	子育てサロン、まちなかサロン・カフェと連携し、家庭や地域での読書活動の推進。	すくすく塾 どんぐり文庫	通年		①すくすく塾 下荘校区福祉委員会ではつくし文庫・子どもNPOはらっぽと連携し「すくすく塾」を月2回開催。 ②どんぐり文庫 東鳥取福祉委員会では、月に1回、2名の子育て支援ボランティアが出向き、文庫活動を手伝っている。	実施できた	他のサロン・カフェでも読書活動の推進の必要あり。
④	「毎月23日は家庭読書の日」など家庭読書活動推進の情報提供	阪南市社会福祉協議会	6月、9月、12月、3月	広報誌発行事業	社協広報誌「ふくしはんなん」を年4回+臨時号（1月号）を発行しているが、臨時号を除く全てにおいて、「毎月23日は家庭読書の日」の記事を掲載。 部数23,800部（全戸配布）	周知徹底を図ることができた	

## 施設等 子どもNPOはらっぱ

↓“今後の取り組み”の番号

番号	推進内容(要約)	施設名 (実施した場所)	実施日・ 期間	事業名	内容(×人参加、×%が〇〇した、等 数値化できるものは入れてください)	課題・自己評価	
						↓プルダウン	↓自由記述
①	舞台鑑賞で、原作のある作品を3作品選び、原作や作者、本と関連する知識とのでのいの機会を作る。	サラダホール	6/14、 11/7、 2/7	舞台鑑賞	事前のイベントにのべ100人参加 当日はのべ800人参加	参加人数多く、好評を博した	
②	乳幼児の活動では、絵本とふれあう時間を作る。	西鳥取公民館・桃の木台各住民センター・福島住民センター・黒田住民センター・あたごプラザ等	毎月1回程度	たまひよっち・プチももっこ・カンガルー・ぱけっと・リトルあそぼうデイ・まいっこお楽しみ会	木のおもちゃ等でのあそびと、絵本タイム（のべ300人参加）	実施できた	
③	つどいの広場「リトル☆はらっぱ」では、日常的に絵本のコーナーで、親子で自由に絵本とふれあう。	子育て総合支援センター	毎週月・火・木・金	リトル☆はらっぱ開催	参加人数のべ1800人	実施できた	
④	月1回、絵本と工作のイベントを行い、絵本の楽しさを伝える。	子育て総合支援センター	毎月1回	絵本と工作	参加はのべ150人	実施できた	
⑤	伝統遊び、野外活動では、子どもたちの興味・関心を育むことを大切にする。	小学校体育館ほか	年間180回程度	あそぼうデイ・ファミリーキャンプ・キッズはらっぱ他	参加人数のべ2000人	実施できた	
⑥	「毎月23日は家庭読書の日」という情報を発信する。		通年	「0123と456」発行	発行部数毎月1780	実施できた	

## 施設等 はんなん子育てネットワーク

↓“今後の取り組み”の番号

番号	推進内容(要約)	施設名 (実施した場所)	実施日・ 期間	事業名	内容(×人参加、×%が〇〇した、等 数値化できるものは入れてください)	課題・自己評価	
						↓プルダウン	↓自由記述
①	人の絆づくり、読書の場の環境づくり	西鳥取公民館	年9回	キティママ	わらべうたやリトミックを通じて話を聞く力を身につける。親子で遊ぶ楽しさを感じる。(参加延べ24名)	参加人数が少なかった	親子での遊びを知っていた大いにかけ作ることができた。
①	人の絆づくり、読書の場の環境づくり	西鳥取公民館	年10回	さくらんぼ	おやこ体操。運営を参加するおやこでおこなうなっている。おやこで遊ぶ楽しさを知り、又異年齢児との交流を持つことで様々な経験を親子ともに広げる。(参加者述べ367名。回平均36名。)	参加人数多く、好評を博した	運営の継続につき、次の者への継承は難しい。
①	人の絆づくり、読書の場の環境づくり	西鳥取公民館	年11回実施	たまひよっち	大人のおしゃべりを中心に、同じ立場の者同士で子育ての情報交換や日頃の思いを話す。(延べ217名。回平均21名)⇒同じ年齢の子を持つ親同士のつながりのきっかけをつくる。	参加人数多く、好評を博した	行政の行事に参加後誘い合っての参加もある。
①	人の絆づくり、読書の場の環境づくり	西鳥取公民館	リトミック1回。 伝承遊び5回。	でんでんむし	リトミックあそびを中心に、親子でのふれあいの中、親子間の信頼感や他者とのコミュニケーションの場として開催。(延べ453名。平均30名。) 伝承遊び:たなばた・豆まき・ひなまつり等	参加人数多く、好評を博した	・コミュニケーションの広がりが回を重ねごとに見受けられる。 ・伝承では普段より多くの参加がある。
①	人の絆づくり、読書の場の環境づくり	西鳥取公民館	不定期。6回実施。	わっくわっくはんなん	学童期の親を中心にした集まり。学年ごとの集まりの中、家の過ごし方など話題にあがる。(延べ40名参加)	周知徹底を図ることができた	子どもの学年が合うことでの会話も深くなる。すっきりしたと言われる。
①	人の絆づくり、読書の場の環境づくり	西鳥取公民館	8回実施。 (学年別6回。親子遊び2回)	つくしんぼ	学年別親の会。(主に小学生を持つ親)各年齢の集まりでは共通の思いを感じることも多い。⇒話題提供:自分たちの子どもの頃。自分たちの親のこと。我が子の気になるところ。(参加者述べ75名)	周知徹底を図ることができた	学年別にしたことでの会話への深さが窺える。親子遊びでは大変喜ばれた。

## 施設等 図書館を考える会

↓“今後の取り組み”の番号

番号	推進内容(要約)	施設名 (実施した場所)	実施日・ 期間	事業名	内容(×人参加、×%が〇〇した、等 数値化できるものは入れてください)	課題・自己評価	
						↓プルダウン	↓自由記述
家庭・ 地域 6(1)	遠隔地のサービス拠点設立への努力	図書館	8月24日	図書館協議会委員長・堀田氏との懇談会	図書館長もまじえて分館についてご指導いただく。	実施できた	
その他	学校図書館充実に向けて	大阪市立中央図書館	10月13日	大阪府子ども文庫連絡会主催の講座受講	大阪市・堺市・阪南市・富田林市での現状報告をきき、学校図書館充実に向けて課題や取り組みについて学び合う。	実施できた	大子連ニュースに阪南市の状況を掲載
その他	学校図書館充実に向けて	商工会館会議室	11月12日	学校教育課の方との懇談	担当の学校教育課門野主幹から学校図書館の現状等をうかがい、これからの活動の参考とした。	実施できた	

## 施設等 公民館

↓“今後の取り組み”の番号

番号	推進内容(要約)	施設名 (実施した場所)	実施日・ 期間	事業名	内容(×人参加、×%が〇〇した、等 数値化できるものは入れてください)	課題・自己評価	
						↓プルダウン	↓自由記述
③	家庭読書の日の周知	尾崎公民館	通年	家庭読書の日の 周知	玄関に常時ポスターを掲示し、来館者に広く周知した。	実施できた	
③	家庭読書の日の周知	東鳥取公民 館	通年	家庭読書の日周 知	公民館の掲示板に掲示し、来館者に周知した。	実施できた	
②	読書に興味を持てる環境づくり	西鳥取公民 館	毎月1回 通年	まほうのおばさん のおはなしかご	お母さんと赤ちゃんから幼児を対象に絵本の読み聞かせ、手遊び、わらべうたの実施		本を通じて親子 のふれあいづく りに貢献

## 施設等 保健センター

↓“今後の取り組み”の番号

番号	推進内容(要約)	施設名 (実施した場所)	実施日・ 期間	事業名	内容(×人参加、×%が〇〇した、等 数値化できるものは入れてください)	課題・自己評価	
						↓プルダウン	↓自由記述
①	初めて親になる人に絵本の大切さを推進	阪南市立保健センター	6/28 10/25 2/21	Welcome ! 赤ちゃん	6/28:6組(11人) 10/25:6組(12人) 2/21:5組(10人)	実施できた	
②	乳児家庭全戸訪問事業で図書館利用のPR	乳児自宅	通年	こんにちは赤ちゃん訪問事業	314人(見込み)	実施できた	
③	ブックスタート事業の推進	阪南市立保健センター	年間12回	ブックスタート事業	330人(見込み)	実施できた	
④	赤ちゃん相談時に絵本の読み聞かせを実施	阪南市立保健センター	7/7 9/1 1/5	赤ちゃん相談日に おける絵本の読み 聞かせ	参加者数 7月:21組 9月:28組 1月:17組+子2人	実施できた	
⑤	地域子育て支援事業における絵本の推進	住民センター	通年	地域子育て支援事業	地域子育て支援事業において絵本の読み聞かせなどを行っています。 (2カ所:大人18人、こども19人)	実施できた	
⑥	地域子育て支援事業における図書館との連携	住民センター	通年	地域子育て支援事業	地域子育て支援事業や保健センター事業において図書館の大型絵本を借用し図書館との連携を図っています。	実施できた	
⑦	絵本は子どもの言葉、心を育てる ことを伝える	阪南市立保健センター	通年	保健師のかかわり	保健センター事業や家庭訪問、地域での健康教育等で保健師が子どもの言葉の発達や想像力を養うためには絵本が大切であることを伝えています。	実施できた	
⑧	家庭読書の日を伝える	阪南市立保健センター	通年	家庭読書の日啓発	おはなし会等のポスターを掲示	実施できた	

## 施設等 子育て総合支援センター

↓“今後の取り組み”の番号

番号	推進内容(要約)	施設名 (実施した場所)	実施日・ 期間	事業名	内容(×人参加、×%が〇〇した、等 数値化できるものは入れてください)	課題・自己評価	
						施設等	↓自由記述
①	保護者や乳幼児が絵本に興味をもてるような取り組み	子育て総合支援センター その他の事業開催場所	事業開催日	親子教室「ちっち こっこくらぶ」 親子教室「ちっち こっこベビー」 おとうさんとあそぼ う にこにこルーム 「ふれあいタイム」 校区子育てサロン (出前保育)	■親子で遊びを通しての交流事業 親子教室(くらぶ25組×5箇所=125組×全10回) (ベビー10組×2箇所=20組×全30回) おとうさんとあそぼう(年4回開催 各回平均10組参 加) にこにこルーム(月1回 第1金曜日 各回平均10組 参加) 校区子育てサロン(地域へ出前保育):年6回	実施できた	対象年齢や季節に応じた絵本の提供した。
②	地域の読書ボランティアと協力	子育て総合支援センター	月1回	子育ておしゃべり サロン	■地域のボランティア、西鳥取絵本の会「ウエスト・ バード」が事業協力、開催時間中に絵本の読み聞か せ・わらべうなどを提供 毎月1回開催(0~1歳児の子どもとその保護者対 象)月平均12組	参加人数多く、好評を博した	毎年参加者が増 加、時間中の読 み聞かせやわら べうなどを楽し みに参加
③	子育て講座に絵本に視点をむけたもの	子育て総合支援センター			■つくし文庫の方に絵本講座を依頼(絵本の大切さ について講義、よみきかせ実技など) 16組参加 ■西鳥取絵本の会「ウエストバード」と共催で絵本講 座を開催予定 (2/17・3/16)	実施できた	絵本の専門家による講座であり、 保護者がおすすめの絵本をたずねたりするなど、 より一層関心が持てた
⑤	「おやこであそぼうカレンダー」啓発	子育て総合支援センター	通年	「おやこであそぼう カレンダー」配布	「おやこであそぼうカレンダー」に家庭読書の日を掲 載、また図書館事業や地域文庫の情報も掲載し、市 内の各機関に配布及びHP上に掲載 その他、家庭読書ポスターを親子が集う室内に掲示	実施できた	「おやこであそぼ うカレンダー」は、子育て家庭への周知率が高いので、今後も継続して啓発していく

## 施設等 公立保育所

↓“今後の取り組み”の番号

番号	推進内容(要約)	施設名 (実施した場所)	実施日・ 期間	事業名	内容(×人参加、×%が〇〇した、等 数値化できるものは入れてください)	課題・自己評価	
						↓プルダウン	↓自由記述
① ⑤	絵本の読み聞かせ	各保育所	通年		毎月1回図書館で、年齢や季節に合った絵本や紙芝居を借りてきたものや所内にある絵本や紙芝居で読み聞かせをしている。	実施できた	早朝保育、延長保育を含め1日の内で、年齢に応じて本に親しみが持てるようしている。
②	おすすめ絵本の紹介	尾崎保育所	毎月 23日		読書の日に各クラスのおすすめ絵本を紹介し、お迎えの時に手に取って見てもらえるように各クラスのポックスを作り置いている。	実施できた	今まででは、おすすめ絵本の紹介だけだったが、今年度は実際に絵本を置いた。
③	図書館見学	阪南市立 図書館	尾 6/19 下 12/15 石 12/17	図書館見学	・絵本と紙芝居の読み聞かせをしてもらう ・1人1冊ずつ絵本を貸し出してもらう (尾崎)5歳児29名 (下莊)5歳児26名 (石田)5歳児30名	実施できた	
④	地域の子ども文庫や市民ボランティアの協力による絵本の読み聞かせ	下莊保育所	4/27、5/25 6/22、7/27 8/17、9/14 10/26、 11/16、 12/14	つくし文庫	絵本の読み聞かせをしていただく。 5歳児26名	実施できた	
④	地域の子ども文庫や市民ボランティアの協力による絵本の読み聞かせ	下莊保育所	1/20 2/23 3/7	つくし文庫	絵本の読み聞かせをしていただく。 4歳児31名 5歳児26名	実施できた	
④	地域の子ども文庫や市民ボランティアの協力による絵本の読み聞かせ	尾崎保育所	6/17 10/15 2/18	おはなしの会	絵本の読み聞かせをしていただく。 6/17、10/15…4歳児29名、5歳児30名 2/18…5歳児30名	実施できた	
④	地域の子ども文庫や市民ボランティアの協力による絵本の読み聞かせ	石田保育所	6/16 10/21	おはなしの会	絵本の読み聞かせをしていただく。 4歳児28名、5歳児23名	実施できた	
④	地域の子ども文庫や市民ボランティアの協力による絵本の読み聞かせ	石田保育所	10/7 2/22	ウエストバード	絵本の読み聞かせをしていただく。 4歳児28名、5歳児23名	実施できた	

## 阪南市子ども読書活動推進計画平成27年度推進状況

⑥	月刊絵本の読み聞かせ	各保育所	毎月		1歳児～5歳児（私費購入） 幼児クラスでは読み聞かせをしたあと、本を個人ロッカーに置き、いつでも見られるようにしている。 乳児クラスでは保育士による読み聞かせをしている。	実施できた	
⑦	子どもが身近に絵本と接する環境作り	石田保育所	通年		各保育室にある本棚から子どもが絵本を手に取り見たり読んだりできるようにしている。	実施できた	
⑦	子どもが身近に絵本と接する環境作り	下莊保育所 尾崎保育所	通年		事務所前廊下の本棚や各保育室にある本棚から子どもが絵本を手に取り見たり読んだりできるようにしている。	実施できた	
⑩	降所時に保護者による子どもへの読み聞かせなどができるような環境の工夫	下莊保育所 尾崎保育所	通年		事務所前廊下の本棚のそばに自由に利用できるよう椅子やベンチを置いている。	実施できた	保護者か忙しいこともあり、あまり利用されていない。
⑪	園庭開放の日に絵本を紹介する	各保育所	月2回	園庭開放	自由に見ることができるようコーナーを作り置いている。 また、参加の子どもの年齢に合った絵本の読み聞かせをしている。	実施できた	

## 施設等 私立保育園・認定こども園

↓“今後の取り組み”の番号

番号	推進内容(要約)	施設名 (実施した場所)	実施日・ 期間	事業名	内容(×人参加、×%が〇〇した、等 数値化できるものは入れてください)	課題・自己評価	
						↓プルダウン	↓自由記述
②	絵本紹介	私立保育施設	通年	絵本の定着	週1回程度絵本の貸し出しを実施し、家庭でも絵本への興味・理解等を定着させる。	実施できた	
⑤	絵本の読み聞かせ	私立保育施設	通年	絵本の読み聞かせの習慣づけ	保育教諭による定期的な絵本の読み聞かせを実施。	実施できた	
⑦	子どもと本とを身近に接する	私立保育施設	通年	絵本コーナー	年長児が自主的に興味のある絵本を読む。	実施できた	
⑧	絵本研修	私立保育施設	年2回	絵本セラピー	絵本の読み聞かせや家庭への紹介のスキルアップ等のために23名の職員が参加した。	実施できた	
⑫	行事を通した絵本の読み語り	アルン西鳥取こども園	クリスマス会	クリスマス会	絵本の読み語りとピアノ演奏により子どもたちに多角的な経験をしてもらう。	実施できた	
⑪	園庭開放での絵本の読み聞かせ	桃の木の森保育園	月2回 (4月・3月を除く)	園庭開放	園庭開放は、5月から2月の第一回目までで、のべ391組の方が 参加があり、毎回絵本の読み聞かせを行った。 保護者の方には、絵本の良さを知らせご家庭でも 楽しんでもらえるように話したりした。	参加人数多く、好評を博した	園庭で遊ぶだけではなく 絵本コーナーで、読み聞かせをしているお母さんも 増えた。 子どもと一緒に選んでいる姿もある。

## 施設等 公立幼稚園

↓“今後の取り組み”の番号

番号	推進内容(要約)	施設名 (実施した場所)	実施日・ 期間	事業名	内容(×人参加、×%が○○した、等 数値化できるものは入れてください)	課題・自己評価	
						↓プルダウン	↓自由記述
①	園児と本とのあい	朝日幼稚園	通年		園児が手に取りやすく、また読んでみたい絵本がすぐに探せるように、アイウエオ順及びジャンル別に分類して置いている。また、玄関前にも「今月の絵本」を配置し、保護者や来園者にも興味をひくよう設置している。	実施できた	
①	園児と本とのあい	尾崎幼稚園	通年		絵本室には落ち着いて絵本を見ることが出来るような机・椅子を常設している。子どもたちの、探したい本がすぐにわかるように絵本、図鑑等に分類して配置している。保育室でも絵本コーナーをつくるなど絵本に親しむ環境づくりもしている。	実施できた	
①	園児と本とのあい	はあとり幼稚園	通年		図書館から借りた本を、見やすいところにおいて置く。 6クラス全部	実施できた	
①	園児と本とのあい	まい幼稚園 玄関広場や 絵本コーナー	通年		・季節や興味のあることに配慮し、子どもたちの目に触れやすい場所に本を置くようにしている。また、興味を引きそうなページをカラーコピーして掲示したり、クイズ形式で表示したりすることで、多くの園児の目に触れ自分たちで考える楽しみを味わえるように工夫している。	参加人数多く、好評を博した	興味のある子ども達が楽しみ、それをクラスに戻ったときに伝えていったことで、多くの子どもに広がることもあった。
②	保育室での絵本の選定	全園	通年		・読み聞かせてもらった絵本を繰り返し見ることが出来るように絵本のコーナーに並べたり、シリーズ物などは関連する絵本の紹介をして展示する等、興味・関心がもてる工夫を施している。 ・季節や、園行事、クラスでの興味をもっていることに関する絵本などを選定して置いている。 ・毎月、季節毎で本の選定をし、掲示する本を入れ替える。 ・それぞれの年齢や生活に適した本やクラスの実情に合った絵本を取り入れるようにしている。	周知徹底を図ることができた	・手に取りやすい環境で興味をもって本に触れることができた。 ・図鑑を見て名前を調べたり、劇遊びのイメージが広がり共有することができた。

## 阪南市子ども読書活動推進計画平成27年度推進状況

③	図書館の団体貸出の利用、図書の購入	全園	通年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新刊案内情報を入手し、随時、新刊図書や園児に読ませたい絵本を検討し、購入している。</li> <li>・子どもたちのニーズに応じた本を選択し、既刊図書からも検討し購入するようしている。</li> </ul>	実施できた	・予算に応じての購入になるので購入できない場合もあるので、図書館貸出しを利用する機会も多かった。
③	図書館の団体貸出の利用、図書の購入	まい幼稚園	必要に応じて 学期毎	阪南市立図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園にはない絵本や図鑑、紙芝居などを子どもの要求に応じたものを借りるようにしている。</li> <li>・楽器毎に季節・行事を考慮した絵本を選び、100冊位借りている。</li> </ul>	実施できた	・お気に入りの本をシリーズで揃えたりでき、大変好評である。
④	日々の保育の中で、素話や絵本の読み聞かせ	全園	通年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、絵本や紙芝居など、季節に応じたものを選択し、読み聞かせをおこなっている。</li> </ul>	参加人数多く、好評を博した	日々、お話を触れることで、子どもたちの遊びの世界も広がっていくと考えている。
⑤	保護者やボランティアによる絵本の読み聞かせ	全園		阪南市おはなしの会	<p>“お話の会”による読み聞かせの実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝日幼稚園(1学期、2学期に1回ずつ)</li> <li>・尾崎幼稚園(学期毎に1回)</li> <li>・はあとり幼稚園(学期毎に1回)</li> <li>・まい幼稚園(1学期、2学期に1回ずつ)</li> </ul>	実施できた	絵本や他の視聴覚教材でのお話を楽しめた。
⑤	保護者やボランティアによる絵本の読み聞かせ	幼稚園	1学期と 2学期		『お話の会』の方に来ていただき、クラスでの読み聞かせをおこなってもらっている。	実施できた	
⑤その他	保護者やボランティアによる絵本の読み聞かせ 人形劇	まい幼稚園	通年	まい幼稚園絵本サークル 舞小学校えほんのへや 人形劇すまいる(岸和田市サークル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まい幼稚園絵本サークル(学期に1回)</li> <li>・舞小学校えほんのへや(3月)</li> <li>・人形劇すまいる(2月)</li> </ul>	参加人数多く、好評を博した	友だちのお母さんや地域の方等いろいろな人にお話を聞かせてもらい、子どもたちだけでなく教師も一緒に楽しみ刺激を受けることができた。また、読み聞かせてもらった絵本興味をもち週末の貸出日に利用したり、シリーズがあればすんで読み広げていく様子が多く見られた。
⑥	図書館見学から家庭での図書館利用へ	尾崎幼稚園	通年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・園から図書館まで近いので毎月図書館に行き、団体貸出しを利用。園児が図書館に行けない時は、職員が100冊の絵本を借り、図書館の絵本を見るができるようになっている。館内でのマナーや、貸し出しの仕方など知る機会となっている。また、さまざまな絵本との出会いを通してお気に入りの1冊を見つけるようになってきている。</li> </ul>	周知徹底を図ることができた	

## 阪南市子ども読書活動推進計画平成27年度推進状況

⑥	図書館見学から家庭での図書館利用へ	はあとり幼稚園	11月6日		・4歳児38名 ・お話ををしてもらう。		
⑥	図書館見学から家庭での図書館利用へ	まい幼稚園	9月15日	阪南市立図書館	・4歳児55名 園児:各1冊ずつ 教師:クラス用に20冊くらい ・図書館の楽しさや利用の仕方を知る。(9月15日)	実施できた	図書館利用を楽しみ「また、行きたい。」と期待の声があがるが、徒歩で通えない為、家庭から利用してもらえるようにクラス便りで知らせる。
⑦	保護者向け絵本コーナーの設置	尾崎幼稚園	不定期		・子どもたちが喜んだ絵本や英語の絵本など、興味をもったものはクラス便りなどで絵本の写真付きで紹介。子どもの興味のある絵本を保護者にも知ってもらえるよう今後も機会を見ておたよりなどに掲載したい。 ・講師による英語で遊ぼう!の日には、英語の絵本にも触れることができた。	実施できた	
⑨	未就園児への読み聞かせ	全園	毎月		・親子登園や体験入園の機会を通して、未就園児にあった絵本や紙芝居、ペーパーサーなどを選択し、読み聞かせをおこない、大切さを伝えている。 ・乳幼児向けの絵本コーナーを設け、親子で手に取って自由に見ることができるように場を提供している。	実施できた	絵本・紙芝居・ペーパーサーなどを使って親子で楽しくお話を聞けるように工夫した。
⑩	家庭読書の周知	全園	毎週末		・毎週末に絵本貸出しをしている。家庭でも絵本を親子で見たり、触れ合えるように年度初めには、絵本と一緒に見たり、読み聞かせたりする大切さについて啓発する手紙を配布した。また、絵本貸出しの際には、『保護者の一言』を書くカードと一緒に持ち帰り、子どもの様子やつぶやきなど記入してもらっている園もある。 ・読書週間については園だよりにて保護者に知らせることができた。	周知徹底を図ることができた	行事予定の中に『家庭読書の日』を毎月いれて周知徹底できた。
その他	小学校図書館体験<5歳児>	朝日幼稚園	学期に1回		5歳児25名が朝日小学校の図書館へ行き、司書の方から絵本の読み聞かせをおこなつたいただいた後、自由読書を楽しんでいる。	実施できた	
その他	移動図書館の利用	朝日幼稚園	毎月	阪南市立図書館	毎月、職員が季節や学年、興味に応じた絵本や図鑑を選択し、借りている。また、廊下に『図書館の絵本』専用のコーナーを設け、園児が手に取り読みやすいようにしている。	実施できた	

## 施設等 教育委員会

↓“今後の取り組み”の番号

↓(※プルダウンから選択、または  
自由に記述両方でもOK)

番号	推進内容(要約)	施設名 (実施した場所)	実施日・ 期間	事業名	内容(×人参加、×%が○○した、等 数値化できるものは入れてください)	課題・自己評価	
						↓プルダウン	↓自由記述
①	学校図書館専任司書の1校1名配置	東鳥取小学校 桃の木台小学校	通年	学校図書館専任司書配置事業	継続して学級数の多い小学校の2校(東鳥取小学校・桃の木台小学校)を1校1名配置とした。常時開館できる環境が整い、読書意欲の高まりがみられるほか、情報センターとして、また居場所としての機能の充実が見られる。	実施できた	
⑨	学校図書館専任司書のスキルアップ研修及び情報交換	全小・中学校	4/2・5/14・ 5/28・7/9・ 8/21・ 10/29・ 11/17・2/4・ 2/23・3/24	研修及び情報交換	学校図書館専任司書を対象とした研修を年間11回行った。研修内容については、学校図書館専任司書で年度当初に決め、実施した。研修を通して、より専門的な知識を深めるとともに、活発な意見交換による学校間連携を行うことで学校図書館運営がよりスムーズに、かつ効果的に行われるようになった。また、今年度は、府の読書フォーラムにも学校司書全員が参加し、研鑽することができた。	実施できた	

## 施設等 小学校

↓“今後の取り組み”的番号

番号	推進内容(要約)	施設名 (実施した場所)	実施日・ 期間	事業名	内容(×人参加、×%が〇〇した、等 数値化できるものは入れてください)	課題・自己評価	
						↓プルダウン	↓自由記述
②	学校図書館の環境整備	尾崎小学校 波太小学校 下莊小学校 上莊小学校 箱作小学校 桃の木台小学校	適宜	本を探しやすい環境整備	・古い本の除籍 ・分類表示の差込の追加 ・絵本のあいうえお順の差込の追加 ・本を面展で配置 ・分類を増やし、絵入りサインを作成 ・分類表を色で表示 ・分類シールの貼り替え ・本棚の移動	実施できた	
②	学校図書館の環境整備	西鳥取小学校 波太小学校 上莊小学校 舞小学校 朝日小学校 桃の木台小学校	4月 適宜	展示の工夫	・新刊本の情報の掲示 ・季節に応じた展示 ・冬の時期に温かみを出すために赤い本を実際に配置 ・人気本、話題本を入口に配置 ・話題の映画や行事のポスターを展示し関連本を配置 ・平和学習で戦争グッズのレプリカの展示 ・文字の少ない絵本・仕掛け絵本・点字のめいろなど読書が苦手な子が手に取りやすい本をカウンター付近に配置	実施できた	
②	学校図書館の環境整備	尾崎小学校 上莊小学校 箱作小学校 桃の木台小学校	適宜	くつろぎ空間の整備	・冬は、畳の上にカーペット設置 ・机の配置や数を調整しスペースを確保 ・畳の交換 ・おりがみ展示コーナーの設置(おりがみもできる) ・本棚の移動	実施できた	
④	読書啓発活動	全小学校	毎日 隔週 春・秋	朝の読書・読書週間の企画	・朝の読書 ・春・秋の読書週間に図書委員と教職員による読書推進企画の実施 ・読書週間のイベント実施(クイズ・おはなしかるたづくり・宝くじなど) ・図書委員会による読み聞かせや紙芝居 ・地域の方による読み聞かせ ・イベントの特典として貸出可能冊数をプラス ・先生や委員会のおすすめ本の紹介	実施できた	
④	読書啓発活動	上莊小学校 朝日小学校 箱作小学校	毎日 隔週 春・秋	工夫した取組み	・ティーチャーズ・ストーリー・テリングの実施 ・読書カードの作成(50冊越えるとゴールドカード) ・読書ノート作成 ・全校児童での本の帯作成 ・教師のお話劇場(学期ごと) ・全校児童による本の紹介	実施できた	
⑤	児童・生徒の実態調査	全小学校	学期末 年度末 適宜	実態調査	・好きな本アンケートの実施 ・家読、児童読書の調査 ・読書記録ノートによる把握 ・全国学力学習状況調査児童質問紙にて把握 ・図書委員によるアンケート実施	実施できた	
⑦	教員と学校司書の連携	全小学校	通年	連携	・学校司書と司書教諭の話し合い、相談の実施 ・学校図書館に関する研修等の情報共有 ・図書館での子どもの様子などの情報提供・情報共有 ・教員向け図書だよりによる情報提供	実施できた	
⑪	家庭読書の推進	全小学校	毎月	図書館だよりの発行	・毎月の図書だよりの中に、「家読」コーナーを設け、家庭読書の啓発を行っている。	実施できた	

## 施設等 小学校(留守家庭児童会)

↓“今後の取り組み”の番号

番号	推進内容(要約)	施設名 (実施した場所)	実施日・ 期間	事業名	内容(×人参加、×%が〇〇した、等 数値化できるものは入れてください)	課題・自己評価	
						↓プルダウン	↓自由記述
⑫	留守家庭児童会での読み聞かせ	下莊留守家庭児童会	月1回	読み聞かせ	下莊留守家庭児童会において、「つくし文庫」が月1回読み聞かせを行っている。(入会人数36人)	周知徹底を図ることができた	市内全留守家庭児童会において読み聞かせをしていただきたい
⑬	家庭読書の日の周知	市内全留守家庭児童会	通年	家庭読書の日周知	「ホームだより」にて「毎月23日は家庭読書の日」をPRする予定(在籍児童数455人)	周知徹底を図ることができた	ふれあい号巡回や団体貸し出しを利用し、児童に読書習慣をつけるよう指導した

## 施設等 中学校

↓“今後の取り組み”の番号

番号	推進内容(要約)	施設名 (実施した場所)	実施日・ 期間	事業名	内容(×人参加、×%が〇〇した、等 数値化できるものは入れてください)	課題・自己評価	
						↓プルダウン	↓自由記述
②	学校図書館の環境整備	全中学校	適宜	本を探しやすい環 境整備	・古い本の除籍 ・本を面展で配置 ・机の配置換え	実施できた	
②	学校図書館の環境整備	全中学校	4月 適宜	展示の工夫	・新刊本の情報の掲示 ・季節に応じた展示 ・人気本、話題本を入口に配置 ・話題の映画や行事のポスターを展示し関連本を配置 ・丸テーブルにテーマごとの本を展示 ・図書館前ロッカーに本の紹介を展示	実施できた	
②	学校図書館の環境整備	全中学校	適宜	くつろぎ空間の整 備	・フローリングに座布団を配置 ・机の配置や数を調整しスペースを確保 ・カーペット付近に雑誌や漫画を配置 ・丸テーブルに本を配置し、自由に座って読めるよう椅子を配置	実施できた	
④	読書啓発活動	全中学校	毎日 隔週 春・秋	朝の読書・読書週 間の企画	・朝の読書 ・春・秋の読書週間に図書委員と教職員による読書推進企画の実施 ・読書週間のイベント実施(イベントの特典として貸出可能冊数をプラス) ・先生や委員会のおすすめ本の紹介	実施できた	
⑤	児童・生徒の実態調査	全中学校	学期末 年度末 適宜	実態調査	・朝読書のアンケートの実施 ・全国学力学習状況調査児童質問紙にて把握	実施できた	
⑦	教員と学校司書の連携	全中学校	通年	連携	・学校司書と司書教諭の話し合い、相談の実施 ・学校図書館に関する研修等の情報共有 ・図書館での子どもの様子などの情報提供・情報共有 ・教員向け図書だよりによる情報提供	実施できた	
⑪	家庭読書の推進	全中学校	毎月	図書館だよりの發 行	・毎月の図書だよりの中に、「家読」コーナーを設け、家庭読書の啓発を行っていく。	実施できた	

## 施設等 高等学校

↓“今後の取り組み”的番号

番号	推進内容(要約)	施設名 (実施した場所)	実施日・ 期間	事業名	内容(×人参加、×%が〇〇した、等 数値化できるものは入れてください)	課題・自己評価	
						↓プルダウン	↓自由記述
①	利用を増やす。	図書館	4月・通年	泉鳥取高校	4月に1年生にオリエンテーションをした。月1回通信を、年1回patioを発行した。季節や行事に合わせたレイアウトの変更とコーナーをつくった。	実施できた	
②	教員の図書館活用。	図書館	通年	泉鳥取高校	授業に関連した資料や教員向けの読み物の紹介。新転人の教員には来館してもらい利用案内をした。	実施できた	
③	授業での利用。	図書館	通年	泉鳥取高校	幾つかの教科に授業をしてもらった。授業の後は資料を探しや課題の作成で利用が増えた。本の貸出も増え、居場所として利用する生徒も増えた。	実施できた	
④	教員との連携。	図書館	通年	泉鳥取高校	授業に関連した資料の収集とコーナー作りをし、図書館に行くことを促してもらった。	実施できた	
⑤	学習支援。	図書館	通年	泉鳥取高校	8時から授業やテスト前の自習室として開放した。わからない生徒には教員を呼んで指導してもらった。	実施できた	
⑥	イベントの実施。	図書館	通年	泉鳥取高校	生徒による読み聞かせを行った。生徒と教員が参加した。	実施できた	
⑦	保護者への貸し出し。	図書館	通年	泉鳥取高校	生徒を介して貸し出しをした。懇談の時などは直接貸し出した。	実施できた	
⑧	中学生への開放。	図書館	通年	泉鳥取高校	希望なし。	実施できなかつた	

## 阪南市子ども読書活動推進計画平成27年度推進状況

⑨	進路指導。	図書館	通年	泉鳥取高校	生徒の興味が湧くよう幅広い進路に関する資料の収集とコーナーを作成した。	実施できた	
⑩	広報活動。	図書館	通年	泉鳥取高校	図書館で行われる催しを、連絡会で案内したりポスターを貼ったりした。	実施できた	

## 施設等 図書館

↓“今後の取り組み”的番号

番号	推進内容(要約)	施設名 (実施した場所)	実施日・ 期間	事業名	内容(×人参加、×%が〇〇した、等 数値化できるものは入れてください)	課題・自己評価	
						↓プルダウン	↓自由記述
②	本の置き方・紹介の仕方について工夫をします。	図書館	8月～		2年目教員社会体験研修に来た教諭に、名前入りのおすすめ本の紹介カードを書いてもらい、館内に掲示している。	実施できた	
④	図書館の本を使う子ども向き行事(工作教室等)を行います。	視聴覚室	8月17日 (火)	工作教室	自然と本の会の会員を講師として、貝殻と紙粘土を使った工作をした。参加者 小学生31名。	参加人数多く、好評を博した	本への関心につなげることができなかった。
⑤	子どもの興味を喚起する企画を実施します。	図書館	7月27日 (月)、28日 (火)	一日図書館員	毎年夏休みに行っている、小学4年～6年対象の図書館員体験行事。各日6名、計12名の定員もすぐに埋まった。	参加人数多く、好評を博した	図書館の業務、ひいては本への関心につなげることができた。
⑥	来館しない子どもや大人が、図書館のサービスに触れる機会を作るため、イベント活動を行います。	おはなしのへや	5月5日 (祝) 11時 14時	おはなし会スペシャル	腹話術、ペープサート、マジックなど、子どもの日フェスティバルの一環として、特別なおはなし会を開催。1回目子ども21名、大人11名 2回目子ども18名、大人17名 計67名	参加人数多く、好評を博した	
⑥	来館しない子どもや大人が、図書館のサービスに触れる機会を作るため、イベント活動を行います。	おはなしのへや	11月3日 (祝)	おはなし会スペシャル	図書館誕生日企画の一つとして、腹話術、ペープサート、マジックなど、特別なおはなし会を開催。1回目子ども11名、大人17名 2回目25名、大人18名 計71名	参加人数多く、好評を博した	
⑥	来館しない子どもや大人が、図書館のサービスに触れる機会を作るため、イベント活動を行います。	サラダホール 小ホール	9月23日 (祝)	パパの絵本ライブ &トーク	パパ's絵本プロジェクトのメンバーによる絵本を使ったライブとトーク。参加者は赤ちゃんから祖父母世代まで、計88名。	参加人数多く、好評を博した	
⑥	来館しない子どもや大人が、図書館のサービスに触れる機会を作るため、イベント活動を行います。	サラダホール 和室	3月7日	紙芝居がはじまるよ！(2回開催)	紙芝居サークル「花菜」とはんなん紙芝居による紙芝居上演会(サラダホールのイベント「サラダフェスタ」協賛) 花菜:31名、はんなん:51名	参加人数多く、好評を博した	
⑪	本の情報を提供したり、講座を企画します。	視聴覚室	7月9日 (木)	選書のための新刊児童書展示会	児童書に興味のある、一般市民と、子ども文庫・学校図書館司書等を対象とした、司書による児童書紹介。参加者24名。	実施できた	紹介した本に予約が多数入り、好評だった。

## 阪南市子ども読書活動推進計画平成27年度推進状況

⑪	本の情報を提供したり、講座を企画します。	視聴覚室	7月20日(祝)	獣医さんに聞く動物園のおはなし	動物園の獣医師による動物園講座。参加者 子ども22名、大人 14名。	参加人数が多く、好評を博した	動物の載った本への興味につなげることができた。
⑪	本の情報を提供したり、講座を企画します。	視聴覚室	10月～11月(全4回)	パパ読んで！(じいじもね)～オヤジのための絵本よ読みかせ講座～	絵本の読みきかせに興味のある男性を対象に、NPO法人ファザーリングジャパン関西の理事を講師に迎え、読みきかせ講座を実施。最終回にはおはなし会を実践した。参加者のべ34名。	参加人数が少なかった	翌年度(平成28年度)には講座受講生による読みメンおはなし会を2回実施予定であり、次につなげることができた。
⑬	館内の展示ケースで、色々な図書に関心を持てるような展示をします。	図書館	通年	著者サイン本展覧会	著者のサインが入った本を展示ケースで展示した。	実施できた	
⑰	家庭読書の日の広報活動	図書館	通年	スタンプカードの配布と景品交換	家庭読書の日を宣伝し、家での読書の定着を目的としスタンプカードを配布した。スタンプ6個または12個で景品と交換した。	実施できた	景品交換をした人数を把握できなかつた。